

# 日本共産党 ひめだ高宏ニュース

No.62

'09.10.14

## 新型インフル対策 厚労省が通知

新型インフルエンザ流行のなかで、高すぎる保険料が払えないために保険証を取り上げられ資格証明書にされた人が医療機関を受診した場合、速やかに短期保険証を交付するよう、厚生労働省が都道府県に9月25日付で通知していたことがわかりました。

10月4日付しんぶん赤旗

が報道。日本共産党国会議員団をはじめ地方議員(団)が労働組合や民主団体などと繰り返し実現を求めたものです。

これまで、「発熱外来」を受診した場合には、資格証明書を短期保険証とみなすとしていました。

5月、この措置では不十分であり、「発熱外来」のない医療機関を受診した場合も、保険証を持つていると同様に取りよう申し入れていました。

8月にも、同様の措置とともに、資格証明書発行世帯に緊急に保険証を発行し、受診の機会が失われないよう求めました。

保険証の取り上げをめぐり今年7月に国は日本共産党の小池晃参院議員の質問に対し、医療機関への一時払いが困難な場合は、保険証を取り上げることのできない「特別な事情」にあたるとの見解を示しています。

今回の通知では、医療機関での一時払いが困難な世帯に資格証明書を発行したこと自体が不適切だった可能性があると指摘。①資格証明書の発行の際には被保険者の実情をよくつかむよう、事務処理体制をチェッ

クする、②資格証明書発行世帯全体について、新型インフルエンザの大流行の前にも、再度「特別な事情」の

把握を徹底する一などにより、被保険者の医療の確保ができるよう「適切な運用」を求めています。

## こんにちは

県会議員の

# ふじい 健太郎

です。(その250)

県主催の「安全・安心まちづくり県民大会」に参加しました。

最近では、花壇づくりを通じて生徒との交流も始まっているようです。犯罪防止からはじめたパトロールが地域と学校生徒との交流に発展し、信頼関係を深めています。今後とも続けていけるよう応援しています。

防犯功労者表彰、地域でのとりくみ発表、振り込め詐欺撲滅手品などのアトラクションのあと大会宣言で閉会しました。とりくみ発表の1つに、私の地元、四カ郷有本地区での発表があり「ぜひ聞きにきて」とのお誘いもあって参加しました。

紀の川中学校を中心に、7名1組で4組が週1回午後7時から40分



3. ふじい 健太郎 県会議員

## フリーの人々



<605>

民主・ハトヤマ代表  
今回の選挙は、単独で民主の勝利を収めた。従来の型の政治への失脚を恐れた結果だ。

志士は、国民は民主のミニマムとして、白紙委任したものではない。

国民に、いかにして理解と合意を、プロセスが必要とされるのか。

「ミニマム」絶対主義というべきではない。つまり民主主義は、ミニマムを、いかにして

# 市議会だより

9月定例市議会は、10月1日(木)に閉会しました。日本共産党市議団は、提案された18議案のうち問題のある議案に反対。採決に先立ち大畑主馬議員が反対討論を行いました。

今回の補正予算は、全体で56億4022万円増額となっており、その多くは国の補正予算関連で「景気対策」を中心とするものです。

一般会計の補正予算は太陽光発電、農林水産、商工土木費など国の経済、雇用対策、生活関連予算であり、そのすべてに反対するものではありません。しかし、教育費における「電子黒板」は用委託金は、現場の声を聞いても必要性、緊急性について疑問があります。学校給食の民間委託は偽装請負の疑いのある事業です。直川地区へのサービスタウンター建設予算については、

支所・連絡所の窓口業務廃止がセットになっており住民の不安が改善されていません。

国民健康保障特別会計の前年度赤字分16億2千13万円を累積赤字解消に充てるとしています。加入者の負担軽減を考慮すべきです。

南保健センター移転のための用地を土地開発公社から17億円余で買い戻す土地は90年当時、10億円余で購

# こどもたちは 日本共産党



11月8日告示、15日投票で紀の川市会議員選挙が行われます。合併後2度目の選挙に日本共産党は現職の岡田つとむ・石井ただし・吉田隆三郎議

員が立候補します。紀の川市は、長寿祝い金、老人クラブ補助、保育所の給食材料費、小中学校の図書購入費や消耗品費などの福祉や教育の予算を次々に削減する一方、67億円の豪華庁舎を計画(市民の反対の声で45億円の構想に変更)、すでに建設のために20億円積み立てています。

日本共産党は、①新庁舎建設計画は白紙にもとし市民の意見を聞いて再検討を、②国保税1人1万円引き下げ、③中学校卒業までの医療費を無料に、④統合する水道料金を一番低い貴志川町の料金に、⑤「支所」機能の充実、⑥農業後継者の育成補助を提案しています。

入したものであり、当時の見通しの余剰と、当時の市長の責任は重大です。

# 紀の川市議選に「支援を

定数6減の24に30人ほどが立候補する激戦です。日本共産党の3市議の生活相談地域を紹介します。それぞれの地域に、ご家族やしんせき、友人があれば、ご支援いただければ幸いです。

**岡田 つとむ**  
事務所 73-6976  
旧粉河町・旧那賀町 57才  
粉河町議3期・紀の川市議団長  
粉河182-16(住所)

**石井 ただし**  
事務所 78-3524  
旧打田町 34才  
打田町議1期・紀の川市議  
西大井558-18(住所)

**吉田 隆三郎**  
事務所 65-2344  
旧貴志川町・旧桃山町 66才  
紀の川市議  
貴志川町国主5-1(住所)

# ゆれる車の音

作・中島淳彦  
演出・鶴山 仁

10月9日(金)演劇鑑賞会10月例会「ゆれる車の音」九州テキ屋旅日記」文学座公演を見ました。舞台は昭和40年代中頃、宮崎県日南市津津の乙姫神社境内。軍隊帰りの愚連隊に生まれ故郷のシヨバを追い出され

たテキ屋の金丸一家が20年ぶりに決死の覚悟でシヨバを取り戻しに帰ってきます。迎撃するのは上原一家。しかし時の流れは祭りごと故郷を大きく変えていました。

休憩ナシの2時間、ほほ笑いっぱなしの舞台でした。